

さとうゆみ

きらめく未来づくり通信

2015年3月26日 NO. 21

〒480-1157長久手市桜作708
TEL&FAX/0561-76-7811
携帯/090-5863-9971
E-mail/info@satoyumi.net

過去の通信を読んでくださる方は、お届けしますのご連絡ください。ブログ「さとうゆみのきらめく未来づくり日記」も、毎日更新中！



新年度一般会計予算184億円可決

このうち10億円はリニモへ

平成26年度の一般会計予算は、160億1,000万円でしたが、新年度の予算は184億円と大きく増加しています。特に経営難のリニモに約10億円(※)を出すことで、基金の大幅な取り崩し、市債(借金)の発行が増えていったことが見受けられる予算です。

リニモにこのような多額の支援をしなければならない事態に大変疑問を感じますが、私は支援をストップしてリニモをつぶせばよいとは考えていないこと(市民の利用は平日33%、休日40%)、愛知県や近隣市町との協議を経てたどり着いた結論であったことから、今回の予算には賛成をしました。平成27年度、28年度の支援が経営支援の集大成ということですが、近い将来再び支援を求められた際には、厳しい対応をしていきます。

リニモに多額の支援をすることで、市民サービスが低下するといった本末転倒なことは絶対にあってはならないと考えます。

(※)現金出資9億1,100万円と、市が銀行から借り入れて貸したお金が戻ってこないため肩代わりして返済する分が約1億円の合計約10億円。

長久手市がリニモに出す金額は56億円!

平成20年~25年度の第一次経営安定化策で長久手市は現金出資とDES(株式化して貸付金の返済を求めない形にする)で21億4,900万円を負担しました。第二次経営安定化策では、現金出資とDESで28億3,900万円を負担します。会社設立当初の出資金7億円弱も合わせると、長久手市がリニモに出すお金は約56億円で、利息を含めると約62億円にもなります。

このような高額な負担をする分、市にとって、市民にとって有効に活用されるリニモにしなければなりません。

	【県・沿線市支援額(第二次経営安定化策)】		(単位:百万円)			合計	民間支援 控除額	【参考(第一次)】 合計 (DES・現金出資)
	DES 27年度	計	現金出資 26年度	27年度	28年度			
愛知県	4,797	4,845	2,350	2,495		9,642	60	6,846
長久手市	1,511	1,328		911	417	2,839	208	2,149
名古屋市	1,429	1,272		872	400	2,701	198	2,045
豊田市	244	209		143	66	453	40	348
日進市	43	32		22	10	75	14	63
瀬戸市	33	24		17	7	57	13	49
合計	8,057	7,710	2,350	4,460	900	15,767	533	11,500

※ 民間支援控除額は、基本的には、沿線市から出資比率に応じて控除する考えで算出

※ 愛知県の27年度現金出資予算額は、2,495百万円に「民間支援額のうち県が寄附を受ける25百万円」を加えた2,520百万円

《さとうゆみ3月議会一般質問から》

市債(借金)が増え、基金(貯金)が大幅に減った要因は?

Q さとうゆみ 市債が増え、基金が減っている要因は何か。

A 総務部長 北中の建設や区画整理事業のために積み立ててきた基金を予定通り活用した。加えて建設事業の単価高騰、学校体育館の天井改修、小学校の増築や保育園の増設などによる。

Q さとうゆみ 来年度リニモ支援に現金約10億円を支出することになっているが、財源はどのようなか。

A 総務部長 リニモには特定の財源がないので、財政調整基金3億円と土地開発基金6億円を取り崩し一般会計に繰り入れて充てる。

Q さとうゆみ 4年間で市民一人あたりの基金残高は半減した。今がお金の出ていくピークか。

A 総務部長 この先も大規模投資の事業が目白押しである。

さとうゆみの考え

私は、この4年間で基金が大幅に減っている問題と、昨年基金の大幅な組み替えが行われ、ある程度自由に使えるようになっている現状があることから、このテーマを取り上げました。

新たに公共施設を整備、建て替えることを目的として組み替えられた「公共施設等整備基金」は、すでに庁舎建て替えを目的に積み立てられてきた金額程度しか残っていません。今ある公共施設の修繕、管理を目的とする「公共施設等管理基金」も平成28年度、29年度に文化の家の大規模改修に9億6,700万円がかかることから、取り崩しが予定されています。

基金がなくなっていくことは市債(借金)にまわる分が増え、将来にツケをまわすことにつながりますので、計画的に積み立て使う必要があると考えます。予算の執行権は市長が持っているため、どのように使われているのか議会側のチェック機能の強化も求められます。

リニモ沿線の区画整理事業による税収増の予測は?

☆長久手中央土地区画整理事業

→都市計画税と固定資産税で
年間約1億5,000万円

☆公園西駅周辺土地区画整理事業→

都市計画税と固定資産税で
年間約1億1,000万円

卯塚墓園事業の進捗状況は？

長久手市は、3年前に12億円かけて墓園用地を取得しました。平成27年9月頃に第1期販売分の工事が完了し、準備が整い次第販売開始の見込みです。

市とは別の団体に管理運営を任せる指定管理者制度を検討していたようですが、平成27年度は市直営で行う予算計上となっています。工事は遅れており、使用料や年間管理料、使用期間は未確定、市直営で行うなど、予算とはいえ不明瞭な部分多く、改善が必要です。

《3月13日暮らし建設委員会での質疑から》

Q さとうゆみ 当初から年度を繰り越して実施するスケジュールだったのか。

A 環境課長 当初は年度末で工事が完了するよう工程を組んでいたが、敷地内の植栽の移動や時期に変更が生じ、工事に遅れが生じている。

Q さとうゆみ 平成27年度は歳入2億円とあるが、「墓地区画使用料」及び「墓地区画管理料」の詳細はどのようなか。

A 環境係長 「墓地区画使用料」は、164区画×113万円と100体×15万円の合計で、2億32万円。また、「墓地区画管理料」は、164区画×8,500円で139万4,000円となる。

Q さとうゆみ 年間の管理料は8,500円で決定か。

A 環境課長 パブリックコメント実施時の金額で予算計上しており、最終的な金額については検討中。

長久手市民の平均年齢は38才ですが、長久手市議会議員の平均年齢は59.4才

私は33才で初当選し、この4年間活動をさせていただきました。現在の議員の年齢構成は以下のようです。

	男性議員	女性議員
25才～29才	0人	0人
30才～39才	1人	1人 ← さとうゆみ
40才～49才	1人	0人
50才～59才	4人	2人
60才～69才	5人	2人
70才～79才	3人	0人
合計	14人	5人

新しいことを柔軟に取り入れて議会改革を進めていく議会になるためにも、30年、50年先の未来を見据えて活動していく議会になるためにも、議会の若返りが必要ではないでしょうか。

公園西駅周辺土地区画整理事業の進捗状況は？

公園西駅周辺土地区画整理事業は、長久手市が施行者となり、平成25年度から35年度を施行期間として進められています。平成26年度末に予定されていたイケアへの土地の引き渡しは議会に説明がないまま平成27年度に延期されていました。また、当初事業総額に含まれていなかった横断歩道橋工事費約5億円も、このたび予算計上されました。

《3月13日暮らし建設委員会での質疑から》

Q さとうゆみ イケアへの土地の引き渡しは今年度(平成26年度)中に完了するのか。

A 区画整理課長 イケアへの保留地引き渡しは今年度末を予定していたが、イケア側から技術者不足、資材価格の高騰等を理由に着工の目途が立たないとの話が出てきた。また、造成計画の見直しの中で造成のための土の量が相当数減らすことができる見込みが出てきており、引き渡し時期を遅らせることで市とイケアの双方にとってメリットがあると考えられるため、現在その調整を行っている。

Q さとうゆみ 横断歩道橋をつくる理由は何か。

A 区画整理課長 グリーンロードが地域を分断しているのが地元から上がっているため、区画整理事業と併せて、分断された地域を円滑かつ安全につながるのは市の責務であると考えられるためである。

今期の任期4年間最後の議会が終わりました。私は「議員になること自体が目的ではなく、議員になって解決したい問題がある」との想いを持って議員になりました。この4年間、私の目の前には常に解決したい課題があり、議会ごとに欠かさず議案に対する質疑、一般質問を行ってきました。議会で取り上げたことで、徐々にまちが変わっていった姿に「市民の想いでまちは変えられる」と今強く実感しています。

私はどの政党とも無関係、長久手に暮らす人の視点で活動してきました。政党の考えに左右されることなく、純粹に日々の暮らしの中で感じることを議会で発言し続けられたのは私の強みです。

これからも長久手で「いつも市民派ずつと無党派」の風を吹かせていきたいです。

さとう ゆみ